

企画展

箱根療養所でくらしした
戦傷病者の労苦

戦後療養所の



所内で作られていた竹細工

協力：独立行政法人国立病院機構箱根病院

平成21年 **7月23日(木) ~ 9月27日(日)**

入館無料

SHOKEI-KAN
しょうけい館
戦傷病者史料館
Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers, etc.

会場 **しょうけい館 1階**

休館日 **毎週月曜日**
(祝日は開館、9月24日(木))

開館時間 **10:00~17:30** (入館は17:00まで)

<http://www.shokeikan.go.jp/>



企画展

療養所の戦後

箱根療養所で暮らした戦傷病者の労苦

戦傷病者の中でも、脊髄を損傷したために下半身麻痺となり、車椅子で生活することになった人々がいました。

箱根療養所はそうした人々のための国立の施設として、戦中に作られた療養所でした。

戦後は一般の患者も受け入れる国立の施設となりましたが、1965(昭和40)年には、所内の戦傷病者の患者のための病棟(西病棟)が作られ、戦傷病者とその家族がともに暮らした療養所となりました。

入所者の中には、戦中から戦後も引き続き療養を続けた戦傷病者もいました。

今回の企画展では、この箱根療養所(現在の独立行政法人国立病院機構箱根病院)より寄贈された西病棟資料を中心に、この療養所で暮らした戦傷病者とその家族の戦後の労苦を紹介します。

また、この療養所で暮らした戦傷病者の証言映像などもあわせて紹介します。



関連イベント

1) 講演会「箱根療養所の想い出」

独立行政法人国立病院機構箱根病院 院長 石原傳幸氏
この療養所の現在の病院長に、当時の想い出をお話しいただきます。

日時: 8月9日(日) 13:30~14:30

会場: 当館1階証言映像シアター **入場無料**

*当日参加も可能ですが、席に限りがございますので(約30名)、ご参加希望の方は当館まで一度ご連絡ください。

2) 学芸員による展示解説

学芸員が企画展の展示解説をします。

申込不要

日時: 7月25日(土)、8月8日(土)、
8月29日(土)、9月12日(土)
の14:00より約30分



展示資料

箱根療養所で暮らしていた戦傷病者に関する資料や写真、新聞記事などを紹介します。



所内で使われていた大正琴とポータブルプレイヤー



上映する主な映像

箱根療養所で療養していた戦傷病者の証言映像(2003年制作)などをご紹介します。

「暖かい支援に支えられて」(9分55秒)
「療養所は大きな家族」(9分53秒)
「受傷の労苦と葛藤を超えて」(9分43秒)
「箱根療養所」(12分28秒)

*この他にも、館内の情報検索コーナーのパソコンで、当館制作の戦傷病者の証言映像(全76本)を随時ご覧いただけます。

当館は、戦傷病者とそのご家族等が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設として、平成18年3月に開館致しました。

しょうけい館という館名は、戦傷病者とその家族等の労苦を知り、語り継ぐという趣旨から、受け継ぎ、語り継ぐという意味の「承継」という言葉からとっています。



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13 共同ビル九段2号館
Tel: 03(3234)7821 Fax: 03(3234)7826
URL <http://www.shokeikan.go.jp/>



地下鉄をご利用の場合

「九段下」駅6番出口から徒歩1分(東西線、半蔵門線、都営新宿線)

都営バスをご利用の場合

「九段下」停留所から徒歩1分(高71系統(九段下~高田馬場駅))

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

※車椅子で来館される場合は館のA入口をご利用ください。